

miaw^{ミヤウ} vol.6

医療法人社団 南淡千遙会 南淡路病院広報誌

特集

新任の ごあいさつ

コラム

長谷川式
認知症
スケール





みなさまの日常が
穏やかであるように

院長 伊井 邦雄



絶対に見捨てない。

いたい、つらい、くるしい、かなしい。
わからない、しらない、なぜ、どうして。
不安なあなたの手を、どうかさしだしててください。
私たちは必ずその手をとりまします。
助けを求めるすべての人へ、絶対に見捨てない医療を。

2022年の春が過ぎ、梅雨を迎えた南淡路病院。木々の緑もいっそう深まったように感じられます。私たち職員は、患者さんとともに穏やかな日々を送っています。ところが世の中においては、残念ながら不穏な出来事が続いています。新型コロナウイルス感染症は、2019年末、中国・武漢を皮切りに、次々と変異しつつ世界中で拡大しており、日本でも若い世代を中心に感染が広がっています。糖尿病などの基礎疾患のある人、高齢者など免疫力が低い人のなかには、感染後重症化し、亡くなってしまった人も少なくありません。

また、今年の2月末には、ロシアが突然何の前触れもなくウクライナに軍事侵攻を仕掛け、ウクライナの多くの都市が戦車やロケット弾による攻撃を受けました。現在も各地で両軍が戦闘を続けており、ロシア軍による一般市民への残虐な行為も次々と明らかになっています。私は、ロシアのこのような行為は、平和な国際社会を脅かして国際法を破る、人道に反した重大な違法行為であると考えています。われわれ一般市民は、戦争を防ぐことは簡単にはできませんが、病気や感染症と戦うことはできます。肺炎や尿路感染症などの細菌感染は抗生物質で治療できますが、インフルエンザ、新型コロナウイルスなどのウイルスに対しては、ワクチンだけが頼りです。現在、日本で認可されているワクチンはノババックスも含めて4種類ありますが、ファイザー、モデルナ、アストラゼネカの3つは、どれをどの順番で接種しても効果に差がないことが証明されています。感染拡大や重症化リスク抑制のために、引き続きワクチン接種にご協力ください。そうすることが自分自身や家族、友人、職場の同僚など、みんなの幸せにつながるはずで

南淡路病院

新任の



ごあいさつ



不調や不安があれば
お気軽にご相談ください

認知症治療に尽力し
患者さんの尊厳を守ります



南淡路病院 副院長
中元 幸治

局に加えていただきましたが、研究方面には結局ご縁がないまま、精神科臨床一般に従事してきました。

キャリアの前半は、統合失調症をはじめ、うつ病、薬物依存症、発達障害など、どちらかといえば若い方に多い精神疾患の診療に携わっていましたが、だんだん私自身が年をとり、高齢者に親近感が出てきたこともあってか、キャリアの後半は高齢者、特に認知症に関する診療を専門とするようになりました。

国立長寿医療研究センター（愛知県大府市）での研修や、老年精神医学の専門医取得を経て、もの忘れ外来や認知症に伴う周辺症状対応の入院病棟で診療に携わりながら、病院管理者を勤めました。還暦を目前にして、「高齢者を診る限りは、精神面ばかりでなく身体面も診ていきたい」という気持ちで芽生えたことが、当院への入職を決意した動機の一部です。少子高齢化・人口減少社会の課

題の一部として、認知症患者の増加が取り上げられています。これは日本だけでなく世界的な課題であり、各地域で自立した取り組みが必要とも痛感します。

とはいえ、時として解決すべき「問題」として扱われる論調には、違和感を感じることがあります。

実は認知症は、医学的に解明できていることはまだそれほど多くとはいえず、原因となる病気やステージにより、さまざまな様相をとります。患者さんの元来の個性や生活歴を踏まえると、一人ひとりの病状は千差万別です。人生の最終段階で、患者さんそれぞれが個性を失うことなく、尊厳を持って生き抜くことができるよう、一助になればと願っております。

まだ日は浅いながらも、職員たちの熱意を感じ、常に新鮮な気持ちでおります。当グループの理念である「絶対に見捨てない。」を肝に銘じて、職員とともに、患者さんのために力を尽くしたいと考えています。

なかもと こうじ ● 1963年熊本県生まれ。1996年信州大学医学部卒業。同年神戸大学医学部附属病院精神科神経科に入職。兵庫県立光風病院（現こころの医療センター）、神戸市立西市民病院、アネックス湊川ホスピタルを経て、2022年4月より現職。専門は老年精神医学、認知症。

本年4月より、副院長職を拝命しました。この場を借りて、みなさまにごあいさついたします。

出身は九州・熊本です。少し回り道をした後、信州大学医学部を卒業し、阪神・淡路大震災の翌年に兵庫県に来ました。高名な精神科の先生にあこがれて、神戸大学医学部附属病院精神科神経科の医

新入職 スタッフの ご紹介



管理栄養士 藤本 智恵美

食事を通して患者さんを支えられる管理栄養士になれるようがんばります！



看護師 西口 萌香

知識と技術を身につけ、患者さんに寄り添った看護ができるようがんばりたいです。

vol.6
長谷川式
認知症スケール
お話：大塚 泰則 先生

み なさんは「長谷川式認知症スケール」をご存知でしょうか。
長谷川式認知症スケールは「どの程度もの忘れがみられるか」を測るテストで、主にもの忘れ外来で採用されています。開発したのは認知症治療の第一人者として知られる、精神科医の長谷川 和夫先生です。
長谷川式認知症スケールが発表されたのは1974年でしたが、当時は「大東亜戦争の終了した年は？」「関東大震災はいつ？」「今の総理大臣は？」などの質問が組み込まれていま

「今、ここに存在すべてを託して生きる」

た。1991年の改訂時には、「大東亜戦争」の文言が「太平洋戦争」に変わり、最新版ではその質問自体がなくなっており、総理大臣の名前を問うこともなくなりました。日本では総理大臣がしよつちゅう変わりますからね。現在は年齢や日付、場所のほか、計算などが問われます。
長谷川先生は88歳の時、ご自身が嗜銀顆粒性認知症にかかっていることを公表されました。あまり一般的ではない病気ですが、症状はゆっくり進行して、一人で生活できる時間も長かつたようです。
長谷川先生はご自身が認知症になったことで、まわりの人が話を聴いてくれなくなり、自分抜きで話が進み、置き去りにされることに、強い不安を感じた

そうです。「不便だが、不幸ではない」「安心して幸せな気持ちで『今、ここ』で生きようになる」ともお話されています。
人は過去を悔やみ、将来に不安を覚える傾向があります。「今、ここ」に自分の存在すべてを託して生きられることが、究極の人生のゴールになるかもしれません。
長谷川先生は2021年、92歳で旅立たれました。認知症医療に多大な貢献をされた長谷川先生に敬意を表するとともに、ご冥福をお祈り申し上げます。



1階受付でお待ちしています！

病院について気になることを何でも解決します！
わからないことがあれば、いつでもお気軽にお声がけください。

☎0799-53-1553
受付時間 月～土曜 10:00～16:00



精神保健福祉士のお仕事について

今回は、当院の地域連携室で働く精神保健福祉士のお仕事について紹介します。

Q 精神保健福祉士って何？

精神保健福祉士 (PSW: Psychiatric Social Worker, MHSW: Mental Health Social Worker) は、精神科ソーシャルワーカーの国家資格です。「相談員」と呼ばれることが多く、主に心に病を抱えた人から相談を受けたり、生活援助やアドバイスをしたりします。

全国の登録者数は、2022年時点で約9万7,300人です。



Q どんな場所にいるの？

当院のような精神科のある病院や保健所、障がい者施設、学校 (スクールソーシャルワーカー) や「こころの電話相談室」など、精神に関わるさまざまな場所で精神保健活動を行っています。

Q どんな仕事をしているの？

専門性や仕事内容は、仕事をする場所によってさまざまです。例えば病院では、入院の相談や退院後の生活相談を行います。患者さんが暮らす地域のサービス事業者と連携して、住み慣れた地域でより良い生活を送れるようにお手伝いします。



外来担当表

2022年6月現在		月	火	水	木	金	土
総合診療科	午前	伊豆	伊井	—	—	宮本 (徳島大学呼吸器・ 膠原病内科)	—
精神科	午前	中元	山崎	小山	大塚 (もの忘れ外来)	山崎	大塚 (もの忘れ外来)
	午後	中元	山崎	小山	大塚 (もの忘れ外来)	山崎	大塚 (もの忘れ外来)

■ 基本理念

5つのS

- ・Sophistication「洗練された」
- ・Specialty「専門性」
- ・Safety「良質で安全な」
- ・Service「医療サービス」
- ・Smile「笑顔で」

■ 基本方針

- ・患者さんの人権を尊重し、精神障害や認知症に対する偏見を取り除くよう努力します。
- ・安全な医療を目指すシステム管理とスタッフ研修を徹底します。(チーム医療の重視)
- ・高齢者に対する全人的な医療を、インフォームド・コンセントを尊重しつつ提供します。
- ・患者さんが安らげる療養環境を提供します。
- ・関連施設との連携を大切にします。



医療法人社団 南淡千遙会

南淡路病院

MINAMI-AWAJI HOSPITAL

- 診療科目 内科・心療内科・神経内科・精神科・リハビリテーション科
- 診療時間 月～土曜 [午前] 9:00～12:00
[午後] 15:00～17:00
- 休診日 日曜祝日・年末年始

〒656-0516 兵庫県南あわじ市賀集福井560
Tel.0799-53-1553 Fax.0799-53-1554
www.minamihp.jp info@minamihp.jp

